

口吉川地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和7年9月18日（木）
午後7時30分～午後8時15分
- 2 場 所 口吉川町公民館 大会議室
- 3 参加者 口吉川地区 22人
市 17人（市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、環境政策課長、学校教育課長）
オブザーバー 5人
傍聴者 1人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり
- (2) 意見交換
ア 三木バイオテック（株）三木堆肥化センターの悪臭問題について

【口吉川地区】

実際に事業所の工場に行った際には、駐車場に到着した段階ですでに臭気を感じる。測定の結果、臭気については基準内であるとのことだが、実際には明らかに臭いが漂っている。この状況を改善し、工場外へ臭気が流出しないようにしていただきたい。

【環境政策課長】

悪臭測定の結果、法的に基準内であっても、地域では臭いを感じられている。市として、実際の臭気そのものを改善できないかについて、臭いについて研究されている企業に相談する予定である。10月中には、市の立会いのもと、事業所とその企業で対策を検討していく予定である。

【口吉川地区】

臭気測定の結果、数値が0.9であっても、表示上は0と表示されてしまう現状がある。実際には臭いが存在するため、0.9は0.9として正確に表示し、実態を反映した測定結果とし

てほしい。

【環境政策課長】

事業所は、環境省の悪臭防止マニュアルに基づいた表示をしている。しかし、臭いがあることは事実であるため、正確な数値で表示するように再度事業所へ働きかける。

【口吉川地区】

環境省からのデータについて、脱臭装置をつけた煙突からのデータと、工場の敷地からのデータの二種類あったが、出入口など別の箇所からの臭気については測られていない。こうした別の経路からの臭気についても正確に測定していただきたい。

【環境政策課長】

測定場所については、事業所、兵庫県としっかりと協議していく。

イ 小学校の学校再編について

【口吉川地区】

統廃合についての教育長の考えをお聞きしたい。

【教育長】

統廃合は一つの手段であると考えている。小規模校は、限られた人数の中で深いつながりができる一方で、人間関係が固定化されやすいという部分がある。理想としては、クラス替えが可能な規模の学校で、多様な人間関係の中で学ぶことができる環境が望ましい。どのような環境で子どもを育てていくのが良いかという視点を一番大切にするべきだと考えている。

【口吉川地区】

口吉川小学校の方向性について、今後、口吉川に住み、そこから小学校に通う児童やその親のことを考えて決断するべきだと思う。しかし実際に口吉川に住みたい、戻りたいと思っていただける方がいなければ意味がない。誰の意見をどのように聞いていけば良いのか。

【教育長】

現在いる子どもたちにどのような環境で勉強したいか意見を聞くことが一番だと考えるが、少人数で慣れた関係のなかにいる子どもたちに判断を委ねるのは難しいと考える。

大人である我々が方向性を決める必要がある。今後、地域と協議しながら最適な形を検討していきたい。